

2021年7月30日

Press Release

報道関係者各位

公益財団法人 国際文化会館

日米友好基金

2020 日米芸術家交換プログラム
東日本大震災からの復興を記念した日米アートプロジェクト
「旅はすみか -Journey Itself Home」 展覧会を開催！



東日本大震災から10年、あの日からのことを、言葉と声で想像しなおす。

コロナ禍のさなか、米国カリフォルニア州を拠点に活動するインターディシプリナリー・アーティストユニットの marksearch (スー・マーク、ブルース・ダグラス) と、世田谷区在住のマルチメディア・アーティスト、阿部浩之と遠藤夏香らがチームを組み、リモートで被災地の若者たちとアートプロジェクトに取り組みました。安全、強さ、未来への希望とは何かを問いかけ、録音したやりとりを「音の俳句」として、東北の津波石になぞらえた3つの「声の記念碑」にきざみました。音という観点から心の復興について考えるプロジェクトです。

本プロジェクトは2020 日米芸術家交換プログラム、及び Tokyo Tokyo FESTIVAL の一つとして行われます。


Tokyo Tokyo
FESTIVAL

2020 日米芸術家交換プログラム

「旅はすみか -Journey Itself Home」

日程：7/27（火）～8/8（日）[最終日は 15 時終了]

場所：世田谷美術館 区民ギャラリーB

参加アーティスト：marksearch (Sue Mark & Bruce Douglas)、阿部浩之、遠藤夏香

入場：無料

*7/31（土）、8/7（土）10:30～11:30 am に美術館前広場でのパフォーマンスを予定

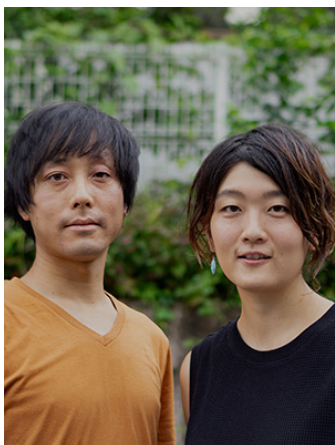
アーティスト・プロフィール：



スー・マーク&ブルース・ダグラス (Sue Mark & Bruce Douglas)

二人組ユニット「marksearch」として、カリフォルニア州オークランドを拠点に活動するインターディシプリナリー・アーティスト。自分たちのことをカンバセーション（会話）・アーティストとも呼び、互いの過去を共有することでコミュニティにエンパワーメントもたらず、インタラクティブな場をデザインし続けている。何気ない散歩中の会話の記録、歩道でのパフォーマンス、記念碑・壁画の合作や国際的なプロジェクト、様々な形でコミュニティの物語を紡いでいる。

marksearch.org



阿部浩之&遠藤夏香 (あべ ひろゆき&えんどう なつか)

東京都在住のマルチメディア・アーティスト。デュオとしても個人作家としても活動。地域の歴史やそこに住む人々をリサーチしながら作品を制作しており、インスタレーションや絵画、映像など様々な表現を通して個人的な記憶や体験を視覚化する。

hiroyukiabe.com

natsukaendo.com

プロジェクト特設ウェブサイト：journeyitselfhome.com

Instagram: [journeyitselfhome](https://www.instagram.com/journeyitselfhome)

日米芸術家交換プログラムは、日米友好基金と全米芸術基金の主催のもと、日本の文化庁と国際文化会館の協力を得て、1978年より実施されています。毎年米国を拠点とするアーティストが選出され、日本で文化・芸術の研修が行われてきました。2020-21年のプログラムでは発足以来初の試みとして、日米のアーティストがチームを組んで作品をつくり発表します。アートを通して長きに渡る日米の友好関係を象徴し、東京オリンピック・パラリンピックを記念する特別企画です。

2020日米芸術家交換プログラムでは、本展示のほか、音楽、ビジュアル、食と持続可能な農業、STEAM教育など、さまざまな分野・テーマにわたる作品を、オンラインを中心に発表してまいります。

主催：日米友好基金、全米芸術基金

共催：公益財団法人国際文化会館

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団、アーツカウンシル東京、朝日新聞文化財団
米日財団

協力：文化庁、世田谷区、世田谷美術館

問い合わせ：

国際文化会館 企画部 ihj-arts@i-house.or.jp

個別の取材をご希望の場合はお問合せください。



www.nichibei-artists.org